

東日本大震災で被災した子どもの心の支援について

1. 被災児童の現状

	岩手県	宮城県	福島県	計
孤児(両親がいない子ども)(24/8/21)	94人	126人	21人	241人
うち、親族による里親への委託(24/6/14)	59人	83人	12人	166人 (うち12人は他の県で委託)
遺児(一人親家庭の子ども)(24/8/21)	481人	857人	142人	1,480人

- 児童相談所は、孤児の把握を行い、親族による引受けや里親等への委託を調整
- その後も養育についての助言等を継続

2. 被災児童への支援

- 心のケアに関する手引きを作成し、自治体、児童相談所、児童福祉施設等へ配布
- 安心こども基金の積み増しにより、被災県での事業を支援
 - ・平成23年度第1次補正予算で27億円を積み増し
 - ・平成23年度第4次補正予算で、基金を積み増すとともに、事業実施期限を平成24年度末まで延長
- 保健福祉の専門職種がスクール・カウンセラー等と連携を図りながら、児童や保護者への相談・援助を実施
- 昨年10月、厚生労働省の要請により、(社)恩賜財団母子愛育会が「東日本大震災中央子ども支援センター」を設置。

3. 被災県での子どもの心のケアに関する取り組み

岩手県

○子どもの心のケア

- ・保護者や支援者向けの啓発冊子の作成
- ・支援者の研修会、講演会の実施
- ・児童の心のケア活動(巡回相談)
- ・メンタルケア個別相談(児童・保護者)
- ・「子どものこころのケアセンター」の設置運営(児童精神科医の配置、巡回相談等)

○遊び場の提供

- 養育に係る支援制度、各種サービスの周知
- 法律相談や財産管理に関する支援
- 被災児童の活動・学習の支援
- 里親会による親族里親への支援
- ひとり親家庭となった世帯の訪問支援等
- わんぱくキッズ招待事業(児童館や保育所等に募集をかけ、遠方にバスハイク)

宮城県

○子どもの心のケア推進事業

- ・児童精神科医、臨床心理士などで「子どもの心のケアチーム」を編成し、医療的ケアを含めた子どもの心のケアに関する幅広い支援を実施(巡回支援を含む)
- ・保育所保育士、放課後児童クラブ指導員保護者等への研修を実施
- ・乳幼児健診の場に心理士等を派遣

○市町村が実施する乳幼児検診会場で、臨床心理士等による心の相談を実施

- 児童の一時預かり、イベント、相談会などを実施するNPO等の子育て支援団体への助成
- 親族里親を対象とした研修会やサロン等を実施
- ひとり親家庭となった世帯に対し支援制度に関するリーフレット等を配布
- 心のケアに関するパンフレット、テキストの作成

福島県

○子どもの心のケア事業

- ・児童相談所の専門的相談・支援体制の強化を図るとともに、保護者、支援者等に対する研修等を実施
- ・乳幼児健診の場に心理士等を派遣

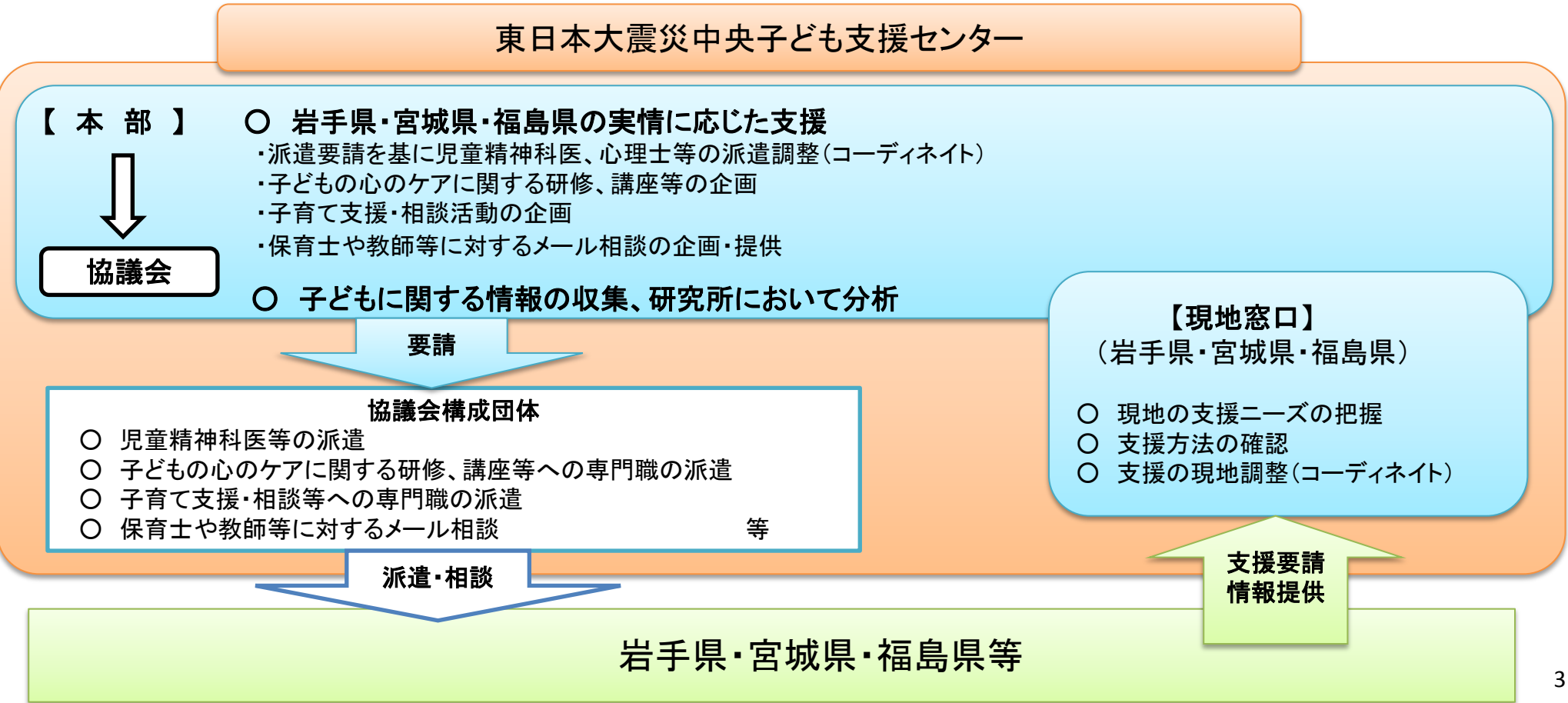
○乳幼児がいる家庭への普及啓発(放射能の心配に答えるリーフレットの配布等)

- 健診や相談会等において、被災した乳幼児親子のこころの相談等を実施
- 震災遺児等家庭相談支援を実施
- 県外避難親子の交流会開催や県外避難者の相談会の開催

* 主なものであり、実施予定のものを含む。

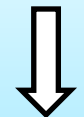
4. 東日本大震災中央子ども支援センターについて

- 平成23年10月27日、「東日本大震災中央子ども支援センター」を設置して、被災地の行政や関係機関と協働して取組を進めることとした。（社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所）
- 支援センターは、岩手県・宮城県・福島県に現地窓口を設置。
- 支援センターの下に、支援方策について協議し、専門家の派遣などの支援を協働して行うため 東日本大震災中央子ども支援センター協議会を設置。
（56の関係機関と厚生労働省及び文部科学省もオブザーバーとして参加）



東日本大震災中央子ども支援センター

【本部】



協議会

- 岩手県・宮城県・福島県の実情に応じた支援
 - ・派遣要請を基に児童精神科医、心理士等の派遣調整(コーディネイト)
 - ・子どもの心のケアに関する研修、講座等の企画
 - ・子育て支援・相談活動の企画
 - ・保育士や教師等に対するメール相談の企画・提供
- 子どもに関する情報の収集、研究所において分析

要請

協議会構成団体

- 児童精神科医等の派遣
 - 子どもの心のケアに関する研修、講座等への専門職の派遣
 - 子育て支援・相談等への専門職の派遣
 - 保育士や教師等に対するメール相談
- 等

派遣・相談

岩手県・宮城県・福島県等

【現地窓口】

(岩手県・宮城県・福島県)

- 現地の支援ニーズの把握
- 支援方法の確認
- 支援の現地調整(コーディネイト)

支援要請
情報提供

- ・あしなが育英会
- ・公益社団法人 SBI子ども希望財団
- ・社会福祉法人横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター
- ・NPO法人 子育てひろば全国連絡協議会
- ・財団法人 児童育成協会 こどもの城
- ・財団法人 児童健全育成推進財団
- ・スクールカウンセリング推進協議会
- ・公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- ・全国児童相談所長会
- ・社会福祉法人 全国社会福祉協議会
- ・社団法人 全国保育士養成協議会
- ・一般社団法人 全国保健師教育機関協議会
- ・全国保健師長会
- ・財団法人 全国母子寡婦福祉団体協議会
- ・全国民生委員児童委員連合会
- ・財団法人 全国里親会
- ・認定特定非営利活動法人 チャイルドライン支援センター
- ・特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会
- ・日本ソーシャルワーク学会
- ・公益財団法人 日本ユニセフ協会
- ・日本医師会
- ・公益社団法人 日本医療社会福祉協会
- ・社団法人 日本栄養士会
- ・社団法人 日本学校歯科医会
- ・財団法人 日本学校保健会
- ・日本学校薬剤師会
- ・公益社団法人 日本看護協会
- ・日本看護系学会協議会

- ・一般社団法人 日本看護系大学協議会
 - ・社団法人 日本歯科医師会
 - ・一般社団法人 日本児童青年精神医学会
 - ・社団法人 日本福祉学会
 - ・社団法人 日本社会福祉教育学校連盟
 - ・社団法人 日本社会福祉士会
 - ・社団法人 日本社会福祉士養成校協会
 - ・公益社団法人 日本助産師会
 - ・一般社団法人 日本小児科医会
 - ・社団法人 日本小児科学会
 - ・日本小児看護学会
 - ・一般社団法人 日本小児歯科学会
 - ・日本小児心身医学会
 - ・日本小児神経学会
 - ・日本小児精神神経学会
 - ・社団法人 母子保健推進会議
 - ・社団法人 日本小児保健協会
 - ・社団法人 日本精神保健福祉士協会
 - ・一般社団法人 日本精神保健福祉士養成校協会
 - ・日本乳幼児医学・心理学会
 - ・一般社団法人 日本保育園保健協議会
 - ・日本保健福祉学会
 - ・日本薬剤師会
 - ・一般社団法人 日本臨床心理士会
 - ・東日本大震災子ども支援ネットワーク
 - ・公益財団法人 東日本大震災復興支援財団
 - ・一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構 日本臨床発達心理士会
 - ・公益社団法人 全国保育サービス協会
- *オブザーバーとして、厚生労働省、文部科学省が参加。

東日本大震災中央子ども支援センターの事業計画(平成24年度)

	福島県	宮城県	岩手県 (※県と協働して各事業を実施)
・専門家派遣	<p>①児童相談所への児童精神科医派遣 (4か所×月2回程度)4月1件、5月1件、6月1件、7月3件</p> <p>②乳幼児健診の場に心理士等を派遣 (概ね35名/月)</p> <p>③市町村の要請に応じた専門職(ヨガ指導者、運動指導士、保育士等)の派遣:5月2件、6月7件、7月8件</p>	<p>○児童精神科医等の派遣 (毎週2チームを編成予定:人材確保中)</p>	<p>○児童精神科医の派遣 (ケース検討等のスーパーバイザーとして毎月1名の派遣)</p>
・研修開催	<p>○県内の支援者・支援団体研修 (5地域で各2回、計10回程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンケアに関わるファシリテーター養成研修 (いわき市7/14・15) ・東日本・家族応援プロジェクト研修 (二本松市11/10・11、福島市12/1・2) <p>②県外避難者の支援者・支援団体研修 (山形県、新潟県、埼玉県、栃木県等で計10回程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外避難者の支援のあり方を考えるための連絡会議開催 5/9 (1都3県の支援団体、福島県内の復興に関わる中間支援団体等が参加) ・ノーバディイズ・パーフェクト・ファシリテーター養成研修(山形市9月4日) 	<p>○保育士・教諭や保護者に対する研修 (年間60回程度の開催)</p> <p>5/17東松島市、5/18石巻市、6/15気仙沼市、6/16山元町・船岡、6/28山元町、6/30岩沼市、8/4山元町、8/21岩沼市、8/22荒浜、8/23、気仙沼市、8/29岩沼市、9/20河北、9/21塩竈市、10/20(場所未定)、11/6汐見町、11/7南三陸</p>	<p>○子どもの心のケア多職種研修 (被災地から離れて心のリフレッシュを図りつつ子どもに向き合うための研修を開催:年数回予定) (6/15:軽井沢で開催18名参加)</p>

	福島県	宮城県	岩手県 (※県と協働して各事業を実施)
・交流場の設定	<p>①県外避難親子の交流会の開催 (山形県、新潟県、埼玉県、栃木県等で計4回程度) ・8/20～24「プレイ!プレイ!!プレイ!!! プロジェクト@こどもの城」東京都 ・11/23～25「プレイ!プレイ!!プレイ!!! プロジェクト」埼玉県</p> <p>②県外避難者のグループミーティング等の開催 (山形県、新潟県、埼玉県、栃木県等で計16回程度) ・8/21・29、9/4ふくしまママ話会 新潟県 ・10月～3月 山形県外避難者ママ話会 山形県 (1クール3回シリーズ、全6クール)</p> <p>③ 県外避難者交流サロン等の情報収集 (山形県山形市・米沢市、新潟県新潟市・長岡市 ・柏崎市、埼玉県加須市、栃木県宇都宮市、 東京都新宿区)</p>		
・その他	<p>①心の健康や放射線についてのパンフレットの改訂発行75,000部(9/28より福島県内外で配布)</p> <p>②その他研修への協力 ・8/11「東日本大震災・教育復興支援シンポジウム」福島市 ・8/26「被災地子育て応援フォーラム IN 福島」福島市 ・8/29「地域の寺子屋推進セミナー ～ふくしまの笑顔を広げよう～」郡山市 ・10/8「地域子育て支援拠点研修事業」仙台市 ・11/17・18「福島児童館・放課後児童クラブミーティング交流研修会」郡山市</p>	<p>①心のケアに関するパンフレット、テキストの作成 (各々年4回の発行)</p> <p>②保育所等の巡回訪問 (総合センターの医師に随行しての専門的助言、実情把握: 保育所、幼稚園、小学校等)</p>	<p>①わんぱくキッズ招待事業 (児童館や保育所等に募集をかけた方にバスハイクを実施:50団体 4,200名程度)</p> <p>②県が主導する「子どものこころのケア推進プロジェクトチーム」の運営事務</p> <p>③沿岸地域の実情把握 (延べ21回の現地視察を実施)</p>